



野田小学校

所在地 〒553-0005 福島区野田 5-13-22

電話番号 6461-0520

標準服 有り

校長名 石崎 厚史

ホームページ <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e531062>



学校概要

○学校経営の重点「学びの実感に満ちた教育活動の創造」
 ○PTAの目標「結～育み、励まし、見守って明るく思いやりのある「のだっこ」を育てよう!」
 ☆「地域・保護者・学校」三者の絆を深めるふれあい活動を大切にしています。

沿革

- 明治36年 第二西野田尋常小学校として開校
- 昭和17年 芦分国民学校を本校に併合
- 昭和22年 大阪市立野田小学校と校名を変更
- 昭和32年 学校給食優良校として文部大臣賞を受賞する
- 昭和57年 講堂棟完成（特別教室 屋上プール）
- 平成24年 北校舎完成
- 平成25年 創立110周年を迎えた
- 令和3年 第59回 社会科全国大会 会場
- 令和5年 創立120周年を迎えた

児童数（令和6年5月1日現在）

学年	男子	女子	計	学級数
1	27	26	53	2
2	41	32	73	2
3	36	33	69	3
4	41	34	75	3
5	40	35	75	3
6	33	36	69	2
特別支援学級				5

令和5年度全国学力・学習状況調査および、全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学力・学習状況

これまでの成果と今後の課題

国語	算数
70	65

(平均正答率%) 小学6年生

昨年度までの授業改善による一定の成果の上に、ひとりひとりの子どもの見取り、個別最適な学びと協働的な学びを手段として子どもの資質・能力向上へつなげていきます。そのためにICTも十分に活用し、学級づくりにも引き続き力を入れていきます。

体力・運動能力、運動習慣

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	18.53	21.91	32.66	38.27	53.38	9.18	155.90	23.83	56.66
女子	16.43	19.17	37.82	36.76	38.29	9.59	145.00	13.06	53.90

(平均値) 小学5年生

これまでの成果と今後の課題

昨年度の調査では、反復横とびと長座体前屈に課題があることがわかりました。そのため、俊敏な動きや柔軟性を高めることを中心とした運動を積極的に取り入れ、「楽しい」と感じることができる体育の授業を引き続き実践することが今後の課題です。



令和6年度 野田小学校の教育



学校教育目標
 「創造性・自主性を身に付け、人間性豊かな子どもを育成する」

めざす子ども像

知 よく考え、ねばり強く
やりぬく子ども

基礎・基本の力を身に付け、楽しく主体的に学習する

- 基本的な学習態度を身に付けさせると共に、基礎基本の確かな定着を図る。
- 自ら課題を見つけると共に、見通しをもって学習し、粘り強く課題解決に取り組むことのできる力や態度を育成する。

徳 思いやりをもち、助け合う子ども

人のふれあいを大切にし、感謝の気持ちや思いやりの気持ちを持って生活する

- 自らの良さを知り、互いを認め合うことのできる力や態度を育成する。
- よりよい関係を築くコミュニケーション能力を育成する。
- 同年齢や異年齢の集団活動を通し、協力して活動する喜びを感じ取り、仲間を大切にしようとする心情・態度を育成する。

体 体と心を鍛える子ども

自分の健康に関心を持ち、進んで健康づくりに努める

- 体育科授業、体育的行事、保健指導等を通し、進んで体力づくりに努める意欲・態度を育成する。
- 給食指導の充実を図ると共に栄養についての関心を高め、よりよい食生活のできる実践力を育成する。

学校経営の重点

確かな学力と豊かな心と体・共に生きる喜びを持つ子どもを育てる

「運営に関する計画」(抜粋)

安全・安心な教育の推進

- 「いじめは、どんな理由があってもいけないと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を100%にする。
- 「人を傷つけることをしているのを見たり、聞いたりするのを許せない」「困っている人を見たら、進んで助ける」に対して、肯定的な回答率を100%にする。
- 「学級や学校は、安全で居心地の良い場になっている」に対して肯定的な回答する児童・保護者の割合の平均を95%にする。

未来を切り拓く学力・体力の向上

- 小学校学力経年調査における「学級の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を50%以上にする。
- 校内調査における「自分で学習内容や学習方法を決めたり、選んだりしたことがありますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動やスポーツをすることが好きですか」に対して最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を71%以上にする。

学びを支える教育環境の充実

- 校内調査において「授業では、一人一台パソコンを使ったり、タブレットを使ったりしていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。
- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の40%以上にする。
- 校内調査において、「学校は、子どもたちが安全で安心して学ぶことができるような教育環境づくりに努めていると思いますか」に対して、肯定的な回答する児童の割合を95%以上にする。